

## 「知事とイクメンパパとの座談会」参加者紹介

<p>やまぐちイクメン応援表彰最優秀賞 ふく だ けん じ 福 田 賢 司</p>	<p>共働きのため、家事育児の分担はできる方ができる事をやっている。夫の役割・妻の役割に男女の差は特にない。 例えば保育園送迎は朝：夫、夕：妻としたり、夕食以降のコアタイムは夫婦が協力して対応するなど、子育ての楽しさや大変さを共有している。 日常的に家事育児を共有することで、仕事や病気等でのワンオペ育児も乗り切っている。また、夫婦がお互いに1人の時間をもてることにもつながっている。</p>
<p>やまぐちイクメン応援表彰最優秀賞 はやし てる あき 林 輝 憲</p>	<p>共働き家庭では出産に伴う仕事への影響は妻の方が大きいと考え、育児・家事は自分が主導で行っている。 子育てをするにあたり、家庭菜園を新たな趣味にして、娘と一緒に土を作り、苗を植え付け、収穫の行程を楽しんでいる。 紙ベースではなく、スマホ内に子育て日記をつけることで、必要な情報を手軽に検索して役立てている。</p>
<p>やまぐちイクメン応援表彰最優秀賞 おかいみつのり 岡井光憲 様の奥様 おか い さ き 岡 井 佐 幾 (母親代表)</p>	<p>夫が「君は1日子育てをして疲れているだろうから、1日のうちどこかで休ませてあげたい。」と言って、私を大切にしてくれる。夫が育休を取得して、初めての育児を二人で相談協力しながら実践している。育休中にフォローしてくれた職場にも感謝している。</p>
<p>子育てサークル表彰受賞団体 なないろキッズ代表 おか ざき あき こ 岡 崎 啓 子</p>	<p>「Join～つながる～」をコンセプトに、スタッフは保育士、看護師及び子育ての当事者等で構成され、保育士等の専門性と、子育て中の母親という当事者性の双方向の視点を取り入れた運営により、利用した子育て家族が、仲間・地域・社会とつながる楽しさを共有でき、ほっと一息ついて笑顔になれるひろばを提供している。</p>